

## 里山整備事業報告

令和7年4月27日(日)晴

### ◇会長挨拶◇

会長 太田 淳也  
 皆さん、おはようございます。  
 今日、好天に恵まれた中  
 を矢島校長先生をはじめ、大勢の下諏訪中学校の生徒の皆さんに集まっていただきありがとうございます。  
 私達の住む諏訪湖をきれいに保つために、この里山から

整備していこうという趣旨のもと、お陰様で、この里山整備事業活動も21年もの長きにわたり続けさせて頂いております。ここに設置してあります「私たちのブナの木」の看板には、君たちの先輩方が、私達のロータリークラブと一緒に活動した証として、生徒一人一人の名前が刻まれております。皆さんの名前も今日の活動によってここで証として刻まれますので、皆さんが将来お父さん、お母さんになった時に自分の子供さんにきっと自慢出来るのではないかと思います。今日は皆さんには土に触れ、自然の中に触れて、是非とも自分自身の肌で感じて頂きたいと思っております。今日はよろしくお願ひ致します。



# SUWAKO ROTARY CLUB WEEKLY



4月27日(日曜日)8時より里山整備を実施しました。今回は下諏訪中学校の先生4名、生徒43名、宮坂健吉さん、そして諏訪湖ロータリークラブ会員19名合わせて66名でブナの森を整備してきました。グループ分けした生徒たちと、ブナの苗木を10本植樹し、落ち枝を収集したり、邪魔な枝を切り払ったりと時間が許す限り作業してきました。最後には中学生の感想もいただき、参加者全員でこの里山整備の意義や活動継続することの重要性について考えることができた時間となりました。中学生にとっても、この課外活動を通じて得られた経験は今後の人生においてきっと役に立ってくれることでしょう。当日は天候にも恵まれけが人も出ることなく無事に終了することができました。皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。(宮坂英貴社会奉仕委員長)

4月27日(日)諏訪湖ロータリークラブ主催で恒例の里山整備事業が行われました。社会奉仕委員会と青少年奉仕委員会との合同事業でしたが、社会奉仕委員会の宮坂委員長に全てお任せとなっしまい大変申し訳ありませんでした。下諏訪中学校のたくさんの生徒の皆さん、校長先生はじめ関係者の皆様と非常に活発な作業ができました。私も初めて生徒の皆さんとブナの植樹を行い、始めの会で萩田会員から説明していただいた「なぜブナを植えるのか」考えながら行いました。終わりの会で生徒の代表2名から、感想を述べていただきましたが、「今日植えた木がどうなったか来年もここへ来て見てみたい」、「この活動が未来へつながることがとても嬉しい」など前向きな言葉を頂き感動いたしました。本当にありがとうございました！(北原数也青少年奉仕委員長)



上から、市民新聞、長野日報4月28日掲載記事  
(LCV ニュースはネットでも視聴できます)

